

(別紙6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月29日

【評価実施概要】

事業所番号	0770302115		
法人名	社会福祉法人 いずみ福祉会		
事業所名	グループホーム すぶりんぐ		
所在地	福島県郡山市安積町笹川字関谷田37 (電話)024-937-3881		
評価機関名	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会		
所在地	福島市渡利字七社宮111番地		
訪問調査日	平成19年9月26日	評価確定日	平成19年10月31日

【情報提供票より】(2007年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 9月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	17人, 非常勤 人, 常勤換算15.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建て 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	49,800 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	280 円	昼食	400 円
	夕食	470 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 1,330 円			

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	5名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 86.4歳	最低	66歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	寿泉堂総合病院、寿泉堂松南病院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

この事業所は住宅街の中にあり、国道に近く家族等の面会、入居者の通院や買い物等で交通の便利が良く、南側には木々が茂り小鳥の鳴き声も聞こえ穏やかな環境である。法人本体である特別養護老人ホームが徒歩圏内にあることから、緊急時はもとより食事や各種委員会等においても連携とバックアップ体制があり、安心感がある。理念・運営方針を職員それぞれが共有しており、支援等の方向性などで行き詰まったり悩んだときには理念に戻り、支援している。また、利用者にとって最良と思われる判断をする姿勢が伝わり、利用者一人一人の生活や歴史を大切に考え、接する様子が強く感じ取られた。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 市町村との関わりが改善課題となっていたが、市の福祉フェスティバルに参画することで市との密接な関係構築に努めている。さらに中学生の体験学習受入をはじめ法人主催のホームヘルパー養成事業に事業所からも講師を派遣して地域貢献に努めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) それぞれの職員が、自己評価及び外部評価の意義を理解し、月に1度の全体ミーティング等で話し合いを重ねることにより、点検、改善を図り、サービスの質の向上と職員の資質向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5) 事業所が所在する町内会に加入し、運営推進会議には行政区長、民生委員を入れ、外部からの意見を積極的に取り入れ事業所運営に反映させている。また、事業所からの報告のみにならないようにしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関に、事業所用の「ご意見箱」と市に提出する「ご意見記入シート」が設置されており、家族等が意見等を出しやすい雰囲気になっている。また、面会時の対話や報告により信頼関係を大切にしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会における回覧板のやりとりをはじめ、地域に対して防災協力を働きかけるなど日頃から地域と関わり合いを持つ努力をしている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者一人一人の今までの生活を大切に、自分の意志をはっきり訴えられない方の気持ちを汲み取り、普通の生活が送れるよう支援することを運営理念の一つに定めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用の際に、理念を具体的に説明するとともに、月に1度の全体ミーティング、2ヶ月に1度のフロアミーティングで職員が理念を確認しあっている。何か悩むことがあった場合、理念に沿って考えるようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入り、町内の情報等を得ている。年に1回子供会の御輿が来るなど、地域との交流が行われている。また、運営推進会議に区長、民生委員が入っていることで地域との連携が円滑に行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員それぞれが、自己評価及び外部評価の意義を理解し、月に1度の全体ミーティングで、さらなるサービスの向上への話し合いをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では事業所からの報告のみにならないようにしており、区長や民生委員からの意見等を事業所の運営に反映させている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市が主催する福祉フェスティバルの実行委員として、委員会及び開催運営に参画などして、市町村と福祉サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>預かり金については3ヶ月に1度報告している。日常生活状況については面会の度に報告している。また、事故などがあった時や通院の際にはその都度、電話などで報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>市からの「ご意見記入シート」とは別に、事業所独自の「ご意見箱」を設置し、常に不満や苦情を受け付けられる様にしている。市の「ご意見記入シート」の苦情等は直接市の方に行くようになっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動の際には引き継ぎを充分に行い、利用者には不便のないように配慮している。また、利用者や家族等にはその都度お知らせしている。法人内の異動は職員の資質向上と、結果的には利用者への質の高いサービス提供の為に考えている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	階層ごとに研修等に参加し1週間以内に復命している。ミーティング等の際に、他の職員に伝達研修を行い情報の共有に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡協議会に加盟しており会議や研修にも積極的に参加している。管理者は県中、県南地域の研修委員にもなっており、積極的に情報交換を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者を人生の大先輩と認識し、利用者から野菜の栽培方法、調理や味付け等を教えられることがあり、常に感謝、尊敬の気持ちを忘れず接している。利用者も職員の顔色を見て健康に気遣ったりするなど信頼関係が構築されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	上手く表現できない方等の思いを受け止めるため、日々の生活の中で本人の希望や意向のわずかな表現も見逃さないように気をつけている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	意見が訴えられない利用者については、希望や意向のわずかな表現や生活パターンを見ながら拾い上げるよう努力している。本人や家族にはその都度話を聞き、本人の希望を尊重し計画を立てている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定した期間に介護計画の見直しを行っているが、利用者の状態が変わったときや退院の際にも速やかに見直しを行っている。また、利用者の状態が変わられなくても、現状と介護計画がずれてないか確認している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/	/	/

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族等の希望を大切に、かかりつけの病院に通院される方もいる。緊急の場合は、法人の母体である協力病院に受診してもらうが、かかりつけの病院の理解があり事業所との信頼関係が築かれている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に本人の急変時の受診医療機関などを確認している。また、体調に変化があった場合は、速やかに家族等に知らせている。終末ケアは今のところ行っていないが、今後の重度化及び終末期について本人、家族等及び主治医との話し合いがされており、本人及び家族等の意志が尊重されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人一人の人間としての尊厳、プライバシーに十分配慮しながら、入浴、排泄などを個別に対応している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や食事時間についても個人を尊重し、職員側の動きではなく、ゆとりをもって利用者第一に支援することを考えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	穏やかで楽しい食事を心がけている。また利用者と職員と一緒に準備、盛りつけ、片づけ等を行ったり、共同で野菜を作り、収穫の喜びを分かち合い、それを利用し季節にあった献立を作っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在希望者はいないが、夜間入浴も可能である。ご本人の意思で毎日の方もいれば二日に一回の方もいる。お湯は一人入る度に交換している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	自分の食事の食器を持ち込んで自分らしい食事を楽しんでいる。また、ごみ箱を作ったり、食事の盛りつけ等それぞれ自分が出来ることを自主的に行い共同で生活する一員であるという自覚を持っている。また、買い物や散歩なども希望があれば支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	日用品や身の回りの物などの買い物や散歩の希望があれば、その都度支援している。みんなで出かける時には、法人のバスを借りて外出を楽しんでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。夜間の施錠は職員の人数が少なく外部からの進入も考え防犯上の理由から、家族等に説明し了解を得ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自衛消防隊を結成している。運営推進会議の際、地域の方にも協力して頂けるよう依頼中である。年2回消防署立ち会いにて避難訓練を実施しており、内1回は夜間を想定した訓練を行っている。非常食などは用意していない。		さらに災害時に対応できるような地域の協力体制を強化するとともに、災害時の備えを行ってほしい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の記録に食事量、水分摂取量が記入されており一目瞭然である。なかなか必要量を摂取できない方については、高カロリー食などの補給を行っている。また、嗜好品については個別に対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有する場所は落ち着ける色合いであり、光も穏やかに入っていた。室内の共有空間は床暖房となっており、心地よく過ごすことができる。華美な飾りではなく、落ち着いた雰囲気になっている。しかし、玄関が寂しい雰囲気であった。		玄関が北側で日当たりのよくない時間が長いものの、事業所外観の色のバランスを考慮しながら、プランター等で花や植物を設けることにより利用者や来客者にも暖かい雰囲気を感じていただけようしてほしい。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の居室については、主に本人と家族等に任せており、仏壇、タンス等使い慣れた物を使用しており、居心地の良い空間となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（別紙1）を添付すること。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム すぷりんぐ
記入担当者名 阿久津 宣行

評価結果に対する事業所の意見
特に無し

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。